

東海鉄道OB会報

第10号

平成19年7月



SLと八十八夜 永井強司（藤枝支部）

目次

平成十九年度

東海鉄道OB会会長表彰式及び総会： 2

平成十九年春の生存者叙勲受章者： 4

東海鉄道OB会

静岡地方本部第三回総会

静岡地方本部事務局長 白井康雄： 4

第二回車両支部ハイキング

東海大阪地方本部車両支部 藤田義晴： 4

二〇〇七年春さわやかウォーキング

『み・ちくさ』山の手散策のみち』の
コース案内に参加して
千種名東・守山・名古屋機関区支部連合： 5

「トレインフェスタインふじえた」

駅舎改築に伴う鉄道展開催
藤枝支部長 清水清策： 6

春爛漫・桜満開の「国宝・彦根城

築城四百年祭りと谷汲山華厳寺」の旅
名古屋地区協議会： 7

静岡・焼津・藤枝三支部の
合同グラウンドゴルフ大会

焼津支部 副支部長 高島繁二： 8

名古屋地方本部

第二回ゴルフ大会開催

名古屋地方本部事務局長 加藤寿美夫： 8

金沢兼六園と和倉温泉&輪島朝市の旅

四日市支部事務局長 岡村昌夫： 9

第四回

東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催

東海大阪地方本部事務局長 八木芳博： 10

JR東海トピックス： 11

グループインフォメーション： 14

読者のひろば： 16

駅探訪／「会報」への寄稿、

文芸欄への投稿」要領／編集後記： 20

平成十九年度 会長表彰式及び総会

東海鉄道OB会では、平成十九年度会長表彰式及び総会を、五月二十二日(火)名古屋マリオットアソシアホテルで開催しました。

会長表彰式及び総会には、ご来賓としてJR東海から石塚代表取締役副社長様、小出総務部総務課長様、JR貨物から山内取締役東海支社長様のご出席を賜り、OB会側からは齋藤日本鉄道OB会連合会副会長と、本部から会長、各副

平成19年度 東海鉄道OB会 会長表彰式・総会



会長(各地方本部長)、専務理事、各会計監査員、事務局長、各地方本部長、各地方本部長事務局長及び代議員十五名と、会長表彰受賞の団体の代表と個人が出席しました。

最初に、会長表彰式を挙行、東海鉄道OB会に顕

著な貢献をされた二団体と個人三十三名の方々に会長から表彰状と副賞が授与され、その労をねぎらいました。

会長表彰受賞者は、次のとおりです。

(以下氏名敬称略)



一 特別功労章

特別功労章は、OB会の運営、発展に特に抜群の功績があり、他の会員が等しく認めている方に対して、特別功労章を贈り顕彰する最高の荣誉で、本年度は次の二氏です。

静岡地方本部

沼津支部 赤羽 隼雄

名古屋地方本部

半田支部 河合 由平



二 総合業績優良団体

OB会の運営、発展のため多くの困難な課題に尽力し、優れた業績を挙げた団体に贈られる荣誉で、本年度は次の支部です。

名古屋地方本部 伊勢支部

三 会員増強表彰

東海鉄道OB会の組織強化のため、会員増強運動を積極的に実施し、その功績が顕著な団体又は個人に贈られる荣誉です。

【団体】

静岡地方本部 静岡支部

四 清掃美化表彰

東海旅客鉄道株式会社及び関連グループ等の清掃美化等に協力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈られる荣誉です。

【個人】

静岡地方本部 三島支部 小阪 茂
名古屋地方本部 名古屋機関区支部 松田小太郎

五 役員功労表彰

永年OB会の役員として、それぞれの組織の発展に功労のあつた方に対し、その功績に贈られる荣誉です。

〈東海東京地方本部〉

電気支部 芹澤 正

〈静岡地方本部〉

三島支部 鈴木 勇

沼津支部 高田 義明

原支部 前嶋 徳也

富士支部 木内 滋

富士宮支部 望野 高徳

静岡支部 石垣 國男

藤枝支部 増田 彰司

島田支部 石間 勇雄

菊川支部 中嶋 孝

遠州北支部 渡辺 勇

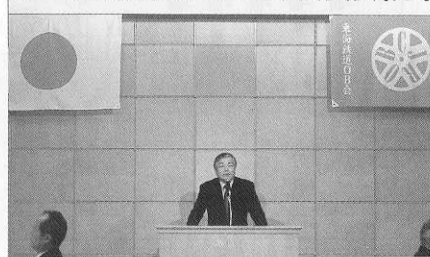
湖西支部 青地 新一

豊橋支部 小川 孝生

〈名古屋地方本部〉

三河支部 藤田 昭

19年度 東海鉄道OB会 会長表彰式



員増強を始めとしたOB会の進むべき方向等についての挨拶がありました。

そのあと国土交通大臣政務官・参議院議員藤

千種名東支部	杉本 和之
守山支部	竹田 孝雄
笠寺支部	堀田 保
名城東北支部	小野木 守
名古屋機関区支部	杉本 昌彦
稲機支部	香田 忠
岐阜支部	北田 弘
垂井支部	高木 光隆
尾北支部	大野 邦夫
美濃太田支部	木村 勇
陶都支部	達 英雄
蟹江支部	古川 清雄
津島支部	加藤 正
伊勢支部	野崎 孝三
車両支部	東 隆士

〈東海大阪地方本部〉

続く総会は、ま

ず、平成十八年度中に物故された会員四百七十八名、準会員九十五名に対する冥福祈念を行った後、ご来賓と役員

の紹介に続き、堀内会長が一年間の振り返りと、この先会

◎平成十九年度東海鉄道OB会基本方針

- 東海鉄道OB会の組織の充実
- 会員相互の親睦、特に支部活動の活性化
- 会員増強運動、特にJR退職者の入会促進
- 東海旅客鉄道株式会社及び関連グループへの協力、特に増収協力活動の推進
- 東海鉄道OB会報の充実



野公孝先生の国政報告が、ユーモアを混えて行われた後、来賓挨拶に進みJR東海石塚代表取締役副社長様からJR東海の現状と将来や、OB

最後に、任期満了に伴う役員改選を行い、改選期を迎え極めて辞意の固い堀内章現会長に代わり、齋藤翁新会長を選任するとともに、専務理事代行を置き、中川博行氏が指名されました。堀内会長から謝辞と齋藤新会長から「JRや社会のお役に立てるような充実した会になるよう、世話役として努めさせていただく」と就任の挨拶があつて、総会を終了しました。

会長表彰式及び総会の終了後、ご来賓、本部及び総会代議員等と、会長表彰受賞者全員で昼食懇談会に移り、ご来賓のJR貨物山内取締役東海支社長様の、乾杯の発声で懇談会が始まり、一同和気藹々のうちに懇談し、散会しました。

◎新会長紹介



▲齋藤新会長



東海鉄道OB会
静岡地方本部第二回総会

静岡地方本部 事務局長 白井康雄

平成十九年春の生存者叙勲受章者

東海鉄道OB会員で、平成十九年春の生存者叙勲を受章されたのは、次の五名の方です。

おめでとうございました。

- 瑞宝双光章 梶川一明様 (春日井支部)
- 瑞宝双光章 杉浦定行様 (千種名東支部)
- 瑞宝双光章 中西敬一様 (松阪支部)
- 瑞宝単光章 福永 薫様 (藤枝支部)
- 瑞宝単光章 渡辺定善様 (富士宮支部)

四月二十七日(金) 東海鉄道OB会静岡地方本部総会が静岡駅南口東海軒会館で開催された。今回は参議院議員藤野公孝先生の国政報告会を併せて実施することとなり、二十六支部の支部長、事務局長

五十五名と関連企業の代表二十四名を加え、来賓としてJR東海静岡支社石津支社長、井上総務課長、滝井静岡駅長、ジェイアール東海ツアーズ稲葉静岡営業部長、JR貨物古沢静岡支店長の五名のご臨席をいただき開始した。

先ず、石津支社長からご挨拶をいただき、JR東海の現況と将来展望などのお話を承り、この後、藤野公孝議員を迎え国政報告会が行われ、総務部小出総務課長から挨拶をいただいた。その後OB会員及び関連企業の代表の方々と、親しく握手して廻り、全員の激励の拍手でお送りした。

引き続き、OB会総会に入り、物故会員百九十五名に対する黙祷、続いて小尾地方本部長から「東海鉄道OB会」になって三年目、組織維持には新規会員の加入の促進が必要。その原点は支部であり、親睦や参加しやすい活動を推進していただきたい。と挨拶し、JR貨物古沢静岡支店長からはJR貨物の紹介を兼ねてご挨拶を頂いた後、白井事務局長の司会で議事に入り、平成十八年度事業報告で静岡支部会員増強二十九名や富士宮支部の鉄道少年団全国大会大会のボランティア活動等が報告され決算書を説明、内藤貴雄氏より監査報告を受け拍手で承認された。

続いて、平成十九年度運動方針を説明し、これに伴う予算(案)についても、前年度に引き続いて厳しい予算運営になる旨説明があり、拍手で承認され総会を終了。

大川三島支部長の音頭で懇親会を開催、約一時間後鉄道展を成功させた清水藤枝支部長(當時)の締めで十三時散会した。

第二回車両支部ハイキング

東海大阪地方本部 車両支部 藤田義晴



昨年の五月に京都の大文字山から陽光に輝く古都の町並みを眺めながら「次回は明日香村」と誓い合ってたちようど一年が経過した五月二十一日、奈良県の明日香村に降り立つ

た十一人の勇士は、曇天の空模様を眺めながら「やっと来たか」と場所の遠さと一年の長さを振り返るように感慨深く呟きました。

天候は回復に向かうという天気予報を信じて集まっただけに、石舞台に向けてバスに乗り込むときには空模様を危ぶむ声は聞こえず、最初の目的地である石舞台の話に花が咲いています。

「蘇我入鹿の墓と言われるが、本当にそうなるだろうか」、「石室を覆っていた土はどこへ行ったのか」。

ふと気がつくくとバスの中は古代日本の歴史口マンに惹かれた熟年者が立錫の余地もないほどです。でもさすがにキトラや高松塚は今が旬なのか資料館で下車する人が多いなか、私達はそのまま石舞台へと向かいました。

ここまで来ると空を覆っていた厚い雲は消え去り、清々しい五月晴れが眩しい光を新緑の野山に注いでいます。

時折木々をゆする風に目を細めながら弁当を開く。さすがにOB会です。新幹線の開業の頃からの話にうなずいたり相槌を打ったりしながら、全員が一足飛びにその時代に逆戻りしていきます。後ろには石舞台が静かな眠りを続けているように横たわっています。

「さあ、次に行こう」スケジュールが現在に我々を引き戻しました。苔むす岩が瑠璃色に輝く岡寺に到着。ここは石楠花やボタン、さらには樹齢五百年のつつじなど、古刹と呼ぶにふさわしい庭が我々を迎えてくれました。

「おみくじを引いてみよう」三名が運勢を占ってみましたが、全員が大吉と出て、早過ぎるご利益を予感しながら二面石、亀石、鬼の俎、鬼の雪隠、猿石などにこの土地に生きた古代の人の面影を偲び、楽しいハイキングも無事にゴールすることができました。

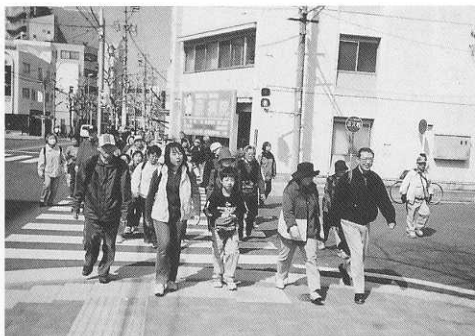
「また声を掛けてね。絶対に来るから」帰途の電車では疲れを感じさせない声飛び交っていました。

二〇〇七年春さわやかウォーキング
『み・ちくさ』山の手散策のみち』の
コース案内に参加して

千種名東・守山・名古屋機関区支部連合

JR東海の二〇〇七年春さわやかウォーキングでは、昨秋十一月三日に成功裡に開催された中央線千種駅での『みんなて歩こみやあ名古屋のみち』に引き続き、『み・ちくさ』山の手散策のみち』を、春のお彼岸の三月二十一日の祝日に開催されました。当日は、毎月二十一日に日泰寺の『弘法さんの縁日』として親しまれ、他にイベントも盛り沢山に計画されており、春らしい日和りの暖かい好天にも恵まれて、昨秋の『みんなて歩こみやあ名古屋のみち』を上廻る多数の参加者が訪れ、成功裡に終了しました。

コースは、名古屋市北東部に位置する千種区内にある動植物園の東山公園をはじめ、偉大な



先人達が眠る緑豊かな平和公園、釈迦の遺骨を奉安するため建立された超宗派寺院日泰寺、織田信長の父・信秀が今川・松平勢力との争いの渦中に居城した末盛城跡のある城山八

幡宮など貴重な歴史遺産と住宅環境が整備された区内と、名古屋市の水道供給のシンボルである昭和五年に建てられた東山給水塔の一般公開が、たまたま当日と八月八日にしかない日でもありました。

また、JR東海社員研修センター内にあるC五七-一三九号蒸気機関車やケ九〇号機関車が一般公開された。(一般向きコース約十三キロメートル・約三時間三十分)



- 千種駅 ↓ ① JR東海社員研修センター ↓ ② 水道道 ↓ ③ 鉦薬師 ↓ ④ 東山給水塔 ↓ ⑤ 平和公園アクアタワー ↓ ⑥ 城山八幡宮 ↓ ⑦ 日泰寺 ↓ ⑧ 参道 ↓ ⑨ 椋山女学園付属小学校 ↓ ⑩ 古川美術館 ↓ 千種駅 (家族向きとして)

④から⑦への約六、六キロメートルも設定されました。

この計画は、千種駅長様から千種名東支部長、守山支部長がお聞きし、昨秋同様支部会員がコース案内に協力させて頂くお約束を申し上げ、二月二十七日に両支部の役員と千種駅長、同助役様が綿密な打合せを行い、三月十三日にコースの主要箇所十箇所への要員配置、交通安全のた



めの誘導等千種駅と最終打合せをしました。

別に、JR東海社員研修センターにある蒸気機関車C五七-139号の一般公開に向けて、名古屋機関区支部から、当機関車は名古屋機関区に配属されたお召し

列車牽引機関車として、今まで名古屋機関区支部の会員が毎年清掃美化を続け又乗務経験もある支部会員などを当日配置してウォーキング参加者に説明などしたい旨、JR東海社員研修センターに申し入れて、支部会員五名配置して説明することになりました。

当日七時三十分千種駅へ集合した十六名は、千種駅長の訓示と指示を受け「み・ちくさ」山の手散策のみちのコース内に設置されたポイント八箇所案内役として、参加者が千種駅をスタートする八時三十分までは、各ポイントに就き、オレンジ色の腕章「東海鉄道OB会」を巻き、お彼岸の休日と弘法さんの縁日とウォーキングとで大混雑する千種区内の交通安全に注意して誘導し、案内箇所も途中から千種駅の方々と一緒になって増やして対処するなど、前回以上に安全に配慮して事故者もなく無事に誘導案内ができました。

千種駅でのゴール受付終了の十五時過ぎを

まっつて、千種駅長の指示により各ポイントを撤収して、十六時過ぎに千種駅会議室に集合。今回の反省点等を話し合った後、千種駅長の謝辞を受け、それぞれ所属する支部長の解散指示により家路に着きましたが、使命達成感と無事に終わった安堵感で一杯でした。

なお、当日は相山女学園付属小学校でふれあいコンサートが一般に無料公開され、給水塔及び配水塔(アクアタワー)の一般解放の日でもあり、また、日泰寺の縁日でもあったのが好都合だったのと、OB会員によるSL説明も有意義でした。

※これらの活動に対し、千種駅長様から感謝状が届けられました。

「トレインフェスタインふじえだ」 駅舎改築に伴う鉄道展開催

藤枝支部長 清水清策

「大変な事業だが君達が本気でやるなら、頼んで見よう」と、八木金平藤枝前市長(現在当支部のOB顧問)は、早速受話器をとり、市の副市長、教育長そして商工会議所専務に「鉄道OB会が藤枝駅々舎改築記念に鉄道展を行いたい」と言っ

てOB会の役員が、今ここに来ておられる。是非協力して欲しい旨の電話をしてくれた。先方のお歴々も二つ返事でご協力を約して下さいました。



前のことである。数日後、八木顧問から電話があり、「会場費(市文化センター)は市が負担する。今後打合わせの窓口は、都市計画部長とするように、なお、駅の工事竣工時の記念行事は市としては行わない。市は既に十七年八月橋上南北通路が完成した時に祝賀行事は済んでいる。」とのことであった。

「OB会支部総会に提案」

総会までには半年以上ある。この間に「鉄道展」の中味をしっかりと纏める必要がある。そこで数年前、隣市の焼津市文化会館で「鉄道展」を行った鉄道マニアでコレクションを沢山お持ちのお宅を訪ねることとした。そして此方の考えを話し、主旨を理解していただき全面的に協力して頂けることとなった。談話の中で「運営費は五十万位は必要でしょう」といとも簡単に言われた。最終的には市が負担してくれた会場費やポスター費等を除き、六十万を超す巨額な経費となった。

さて、十八年度OB会藤枝支部総会には「鉄道展」という目新しい事業計画を提案し予算三万円を計上した。総会前に地区幹事会を開き事業計画等につき了解を取ったうえ総会に

提案する手順を踏む。提案する方も、またこれを受ける方も中味が煮詰まらないまま総会は六月十一日開会、議案事業計画を提案、質疑の後、執行部案は満場一致で可決された。

「鉄道展運営の骨格」

主催 藤枝市教育委員会、鉄道OB会藤枝支部
協賛 藤枝市役所、藤枝商工会議所

協力 藤枝鉄道ファンクラブ、駅周辺商店街、藤枝市文化協会

後援 JR 藤枝駅、大井川鉄道(株)、静岡鉄道(株)

「合同全体会議始まる」

関係者による合同会議は、第一回、十八年五月二十一日に開催。お互い初対面の為、自己紹介から始まる。

OB会支部長から経緯を説明、一年後の開催に向けお互い意志の疎通を図り力をあわせて行くことをお願いした。委員の皆さんは最後まで愚痴一つ言わずお願いごとを気持ち良く聞き入れてくれた。大イベントの裏方として積極的に行動して頂いたことを忘れてはならない。合同会議は、都合六回開催、全ては順調に進行した。



「出品」

市文化センター一階大ホールは広さ約百三十坪。三分の一のスペースを模型車両運転コーナーに、残り三分の二全部と他に玄関ロビーの側壁ガラスケースにコレクション陳列、更に別室を写真展示コーナーと三分割した。

①コレクション(約六百点)の主なもの JR 静岡支社特別出展の三七一系特急用模型車両、特急用ヘッドマーク、リニア模型車両をはじめ、

OB会員一般マニアの秘藏品による北海道から九州までの主要幹線を走った特急列車の愛称名板、駅名板(右書き)など殆どがホロー材のもの、SLナンバープレート、タブレット、氣象通報板、パンチ、日付印字機、合図灯など

②模型車両の運転(Nゲージ)

③写真展約百点、機関車、列車、国鉄時代の記録写真、昔懐かしい藤枝駅及び周辺写真等々

④開催期間は三月二十三日から四日間 入場無料

「感動の数々」

①お父さんが昔、国鉄に勤めていた。一目見せてあげたいと額に入ったご遺影を胸に管内をくまなく見て廻られたご遺族の姿

②三日目に「入場二千達成」の懸垂幕が天井から下がり、お子様連れの静岡市のご夫婦に記念品を贈呈

③最終日に三千人を超す観客、大人も子供も共に楽しめた「トレインフェスタインふじえだ」は無事終了。

この催しにご協賛頂いた八十七の企業、商店

の皆様心からお礼申し上げます。
最後になったがOB会員の協力、出展者十九名、ボランティア協力延百四十三名有難く感謝している。

静岡新聞三月二十八日コラム欄に藤枝支局長が「笑顔あふれる鉄道まつり」と題し「一年以上かけた手作りイベント。資金面や、運営面、展示品の収集、展示方法など、大変な苦労だったのでは、是非もう一度開催して欲しい。懐かしそうにグッズを眺める人々、鉄道模型に夢中で見る子供達の姿を見てそう思った。大盛況で終えたことは何よりだった」と書いてくれた。

この一文を読んで一年余の疲れも一挙に吹っ飛んだ嬉しい記事であった。

春爛漫・桜満開の

「国宝・彦根城築城四百年祭り」と
谷汲山華厳寺」の旅

名古屋地区協議会

名古屋市内の中村、千種名東、守山、鶴舞、笠寺、名古屋臨港及び名城東北の地域支部と職域の名古屋機関区支部とで、名古屋地区協議会を設けてお互いの連絡を密にし、JR増収協力を主にも共同で「初詣」「春」等の増収協力旅行を主催し、秋の「地本主催の大イベント旅行」にも参加しております。

本年の「春の増収協力旅行」は、毎年お世話になっているJR東海バスにお願いして、四月十日に「国宝彦根城築城四百年祭」と「谷汲山華厳寺」に名古屋地区協議会のOB会員四十名が参加して出かけました。

当日は、参加者の平生の心がけが良く、快晴でまさに春爛漫というお天気でした。名神高速道を快適に走り「国宝彦根城」に到着、桜が満開で築城四百年祭りで賑やかな彦根城と往年の城下町を再現した街並を桜吹雪を浴びながら散策した



た後、レスト関ヶ原へ向かい、桜の下で「お花見せいろ蒸し」の昼食を味わい、信仰の深い皆様のために「谷汲山華厳寺」へと向かい、谷汲山の下にある駐車場から急な階



段を桜満開の中を登って華厳寺をお参りした後、名古屋へと帰路に着きお互いの健康を誓い再会を約して解散しました。

(JR増収金額約二十万円)

静岡・焼津・藤枝三支部の 合同グラウンドゴルフ大会

焼津支部副支部長 高島繁一

藤枝・焼津支部G・G大会は数年前から春秋の二回交互に実施されていたが、最近静岡支部も合流できないかとの要望がありその都度話題としたものの立ち消えとなっていた。

昨年秋頃地本事務局長から収拾は事務局で計るから本格的に検討してみたい欲しい。との事であった。その後、前の二支部が個別に支部内の意見集約の結果、両支部とも決定的なことは抜きにし決行してみようかとの意見が大勢であった。

それでは春季大会当番の焼津から試行してみよう。と一言で新年に入り早々と計画を立て準備を進めその結果静岡支部からは大変な喜びの声があがった。

会場の確保や開催日の調整やら綿密に設定し去る三月十四日午後から焼津市清見田公園内球場で第一回目を試行する事となった。参加者名簿を二月末日を目途に集約したところ思いもよらず錚々たる皆さんもメンバーにあり驚愕。計

画して良かったなあとつくづく思った。

時期も「春の嵐」の最中、天候に気を揉んだところ、どうしてどうして温暖な最高の日和であった。

選手七十二名、十二ホール、一組六名割の個人競技二回戦で開催となった。開会式には当番支部長、続いて藤枝、新参の静岡支部長から喜びと激励を頂戴した。

当番支部の助成金、各支部等からの茶菓の差し入れを、頂きながらプレーした。賞品には一位から十五位迄と飛び賞、B賞、高齢者敢闘賞も準備した。女性群(遺族・準会員)の奮闘も立派で六名が入賞した。選手は最高齢者九十一歳、八十六歳、八十一歳まで十一名が参加堂々の戦績であった。

因みにその敢闘賞は八十六歳の滝一郎氏であり、本試合でも十一位に入賞された。全員に準入賞を授与し、その企画は大変喜ばれた。

爽やかな春空を仰ぎ快い球音を聞きながら和気藹々のうち十六時表彰・閉会式となり、次回の空気を探り当てようと誓い散会した。

関係者の皆さん、ご協力に感謝します。

名古屋地方本部 第二回ゴルフ大会開催

名古屋地方本部事務局長 加藤寿美夫

名古屋地方本部では、昨年から会員の親睦を

より深めるため、地方本部主催のゴルフ大会を始めましたが好評で、このたび第二回大会を次の要領で開催しました。

○開催日 平成十九年四月二十六日(木)

○コース 貞宝カントリークラブ(豊田市)

○競技方法 ダブルペリア方式で八時三十分

アウト・イン同時スタート

○参加人員 約六十名



貞宝カントリークラブは、名古屋の東近郊にあって歴史も比較的古く、かつてはプロ競技も行われていた由緒あるコースで、当日は春たけなわの好天に恵まれ、参加者全員早々にコース入りし、意気込んで順次スタートしていきましました。

コースは、適宜アップダウンやうねりのある距離十分のコースで、悪戦苦闘が随所で見られ、これが成績に端的に現れました。

三々五々入浴を済ませ、コンペ室で待つことしばし、成績表が配られると全員が騒然とし、喜びや無念さを露にしたなかで、表彰式に移りました。

当日の上位入賞者は次のとおりでした。

- 優勝 杉浦 宏 (三河支部)
- 準優勝 二村昌土 (笠寺支部)
- 三位 鈴木明雄 (三河支部)

金沢兼六園と和倉温泉&輪島朝市の旅

四日市支部 事務局長 岡村昌夫

恒例のJ.R増収協力旅行会は、『弁当忘れても、傘忘れるな』と言われるこの時季では一番天気も左右される北陸路へ、三月二十二日から二十三日までの一泊二日間で、J.R東海バス二台に分乗して実施しました。

高齢者が多い中でも九十二歳にしてまだ矍鑠



とした会員を筆頭に、米寿が過ぎた会員、喜寿を迎える会員ら、平均七十歳をはるかに超える年齢の男女合わせて四十八名の参加があり一路金沢に向かって旅立ちました。

出発の時点では、好天の東海地方とは裏腹に、昼食をすませた後に、『兼六園』を散策する段階になって、どしゃぶりの雨に見舞われる始末！折角のスケジュールも、傘をさしてまでもと尻込みする人が多数。些少な希望者で散策する残念な結果に終わってしまう。

しかし、能登半島国定公園の今浜から千里浜まで全長約八キロの『千里浜なぎさドライブウェイ』は、丁度満潮時と重なり、水飛沫を揚げて快走するドライブとなつて、車内では歓声が上がります。

昨年十月に、開湯千二百年を迎えた和倉温泉では、塩化物泉の塩辛い湯に浸り、一休みした後には、親睦・宴会でのカラオケやダンスに興じて、時間の経つのも忘れる程の盛会を極める。

北陸路では、珍しく好天の朝を迎え、能登島を経由して輪島に入り、名物の輪島朝市では郷土の味や土産物を物色したりして、能登の清々しい風土に堪能する。

奥能登の名刹曹洞宗大本山『總持寺祖院』では、寺院の女性ガイドの名調子に聞き惚れて、予定の出発時間を過ぎてしまふハプニングが出る始末となる。

昼食を兼ねての景勝地・能登金剛殿門は、険しい見学順路のためか、健脚者だけが波の浸食に

よって出来た洞窟を眺められたが、帰路の制限時間もあるので、惜しまれながら去ることとなる。

平成二年に始められた、当支部の企画・JR増収協力旅行も、毎年続けてこられて、今年で第十八回目となるが、参加者を募る方法が大変難しくなっていくことは否めないが、行事が終わった後での反省には、必ずしも、頑張ったって見ようと言う意気込みが、まだまだ衰えていないようである。

(増収協力金額百三十四万四千円)

※訪れた二日後に、奥能登を震源とする『能登半島地震』が発生。災害で被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈念いたします。

第四回

東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催

東海大阪地方本部事務局 八木芳博

平成十九年四月五日(木曜日)に第四回東海鉄道OB会大阪地方本部主催のゴルフコンペに四支部から総勢四十名の参加を得て京都府宇治市「日清都カントリークラブ」で盛大に開催されました。

天候にも恵まれ、醍醐コース、宇治コースに分かれ八時二十六分同時スタートで進められました。

コースは宇治川を眼下に右に古都京を一望、遠く生駒、金剛の連山が眺望できる高原に展開されるコースで、フェアウェイは狭く、多少アップ

ダウンがあり適度のスロープとあわせ変化に富んだコースで、皆さんは楽しみながらも、悪戦苦闘されていた様子でした。

表彰式は、同ゴルフ場のコンペルームで行われ、片山地方本部長の挨拶の後、優勝及び各種の賞品が授与され、今回の優勝者は名古屋から参加されました電気支部の坂手公氏が受賞されました。

地方本部のゴルフ大会も今回で四回目になり、会員の皆様の参加も増えてますます盛大になり、会員皆様の更なる開催の要望も強く、年間行事として定着してきました。

次回は運輸営業支部主催の大会を開催する予定です。

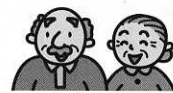


お気軽にお電話下さい

- ご相談・ご案内の費用は一切ありません。
 - ご相談の内容は秘密厳守します。
- ワーカーがご相談に応じます。



ひとり暮らしで話し相手がない



年金相談
年金の手続きが分からない



病気や障害で困っている



別居している老親のことが心配

◎その他相談事

連絡先

〒四五〇—〇〇〇二

名古屋市中村区名駅三丁目十三—二十六(交通ビル七F)

(財)鉄道弘済会 名古屋福祉所

電話(〇五二)五六二—一六〇六〇

福祉主事 高木光男 福祉主事 大庭勝徳

〒四二〇—〇〇三三

静岡市昭和町十一十八

(財)鉄道弘済会 静岡福祉所

電話(〇五四)三二二—八九七二

福祉主事 大橋正博 福祉主事 永田俊雄

(注)東京・大阪地区については、とりあえず名古屋福祉所に連絡下さい。

JR東海ト

ピックス

JR東海の社内誌「おれんじ」4月～6月号の記事を抜粋して掲載しています。

広報部

地球温暖化防止に向けた取り組み

「Eco(エコ)出張」を展開



▲「新幹線でEco出張」ロゴ

地球温暖化防止をはじめとした地球環境問題に対して、世界規模で取り組みがなされている中で、日本の各企業も社会的責任として、オフィスでの省エネ化や省資源化などに取り組んでいます。当社はこのような取り組みのひとつとして、「Eco(エコ)出張」を提案しました。

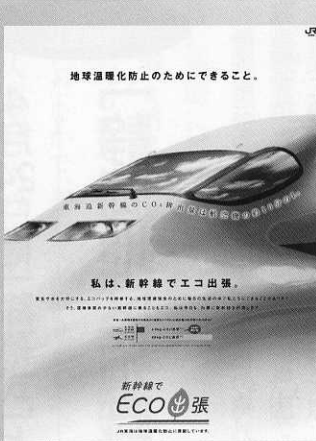
今後、鉄道の環境優位性とあわせて、「Eco出張」の浸透を図るため、テレビCMやソーシャルや新聞・雑誌への広告掲載、駅でのポスター掲出など、様々な媒体を通じて積極的に情報発信を行うことで、地球温暖化防止に一層貢献していきたいと考えています。

「Eco(エコ)出張」とは

「エコロジー(環境保護)への貢献につながる出張」すなわち、「中長距離の移動(出張)において、より温室効果ガス排出量の少ない交通機関(出張形態)を選択する」という考え方の行動です。

日本の運輸部門全体のCO₂排出量のうち、約6割が旅客輸送、いわゆる「人流」によって排出されており、そのうち約2割が「企業活動に伴う業務目的の移動(出張等)」に起因すると考えられます。

一定規模のCO₂排出が想定される中長距離移動すなわち「出張」において、より環境負荷の小さい交通機関を選択することは、CO₂排出量削減効果が大きく、一方で初期投資や目立った維持コストが発生しない、極めて取り組みやすい温室効果ガス排出削減策です。
この「Eco出張」の考え方とそれに基づく具体的な取り組みが広まれば、一層の地球温暖化防止に繋がると考えられます。



東海鉄道事業本部

「ちよっとおいでよ スロートラベル飯田線」

飯田線全通70周年 キャンペーンを開始



▲「飯田線全通70周年キャンペーン」ロゴ

飯田線(豊橋～辰野間)は、豊川鉄道(株)・鳳来寺鉄道(株)・三信鉄道(株)・伊那電気鉄道(株)の4社により一つのレールとして結ばれていましたが、1943年(昭和18年)に国有化されて、1987年(昭和62年)4月より当社所管となった歴史を有します。最後の区間である大嵐～小和田間が1937年(昭和12年)8月20日に開通したことから、これを記念した「飯田線全通70周年キャンペーン」を4月1日(日)から9月30日(日)までの半年間で実施します。

キャッチフレーズは、「ちよっとおいでよスロートラベル飯田線～歴史・文化・自然とともに70年～」として期間中に右記の取り組みを展開します。スロートラベルの魅力がいっぱいの飯田線195.7kmをご家族やグループでぜひお楽しみください。



▲8月に全通70周年を迎える飯田線

「全通記念さわやかウォーキング」の開催
全10回、飯田線で「全通記念さわやかウォーキング」を開催します。記念パッ

ジや地元特産品の「ちよっぴりプレゼン」を用意したコースもあります。

2 春の佐久間レールパーク 祭りでの特別車両公開
今春のレールパーク祭りでは、特別車両公開を実施します。



▲佐久間レールパーク

3 「飯田線検定の実施」
7月15日(日)には、平岡で「飯田線検定」を実施します。飯田線や飯田線沿線の歴史・文化・自然等に関する問題を出題し、合格者には認定証を授与します。

4 「飯田線スタンプラリー」の実施
7月20日(金)から9月30日(日)の間、飯田線内の18駅を対象に「飯田線スタンプラリー」を実施します。

5 全通記念日での記念品配布
8月20日(月)の「伊那路1号」3号(本長篠～飯田間)にご乗車のお客様全員に記念品を配布します。

◆ JR 東海トピックス ◆

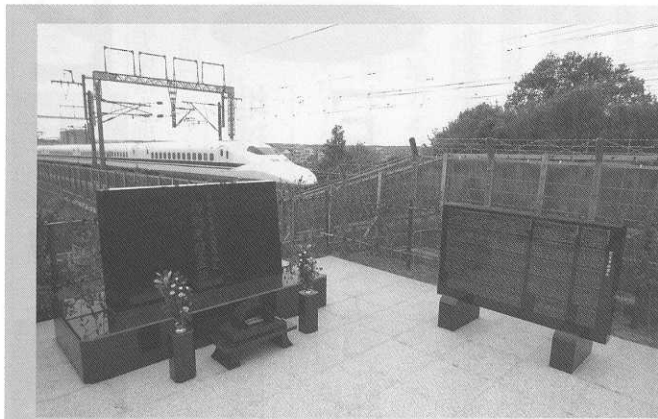
人事部
静岡支社

4月24日に「除幕式」と「開眼法要」

「静岡地区殉職者慰霊碑」完成

静岡県浜名郡新居町にある当社の殉職者慰霊碑と同じ敷地内に、この度、国鉄時代に静岡地区で殉職された方を慰霊する「日本国有鉄道静岡地区殉職者慰霊碑」を建立し、4月24日に「除幕式」と「開眼法要」を執り行いました。

この碑は、国鉄時代の殉職者の内、旧静岡鉄道管理局管内85名、静岡地区旧名古屋鉄道局386名、静岡地区旧東京鉄道局157名のあわせて628名名の御霊をお祀りしています。



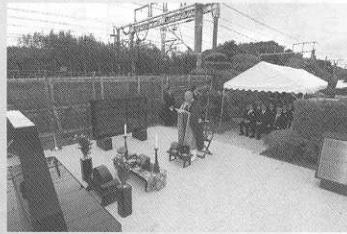
▲静岡地区殉職者慰霊碑（碑文は松本社長揮毫）

「除幕式」と「開眼法要」には金子人事部長、吉川安全対策部長、石津静岡支社長、水嶋JR東海ユニオン委員長、小尾東海鉄道OB会静岡地方本部長ら合計24名が参列し、先人の犠牲に対して改めて深く哀悼の意を表すとともに、今後も鉄道事故防止に向けた安全対策を確実に実施していく決意をあらたにしました。

「除幕式」と「開眼法要」には金子人事部長、吉川安全対策部長、石津静岡支社長、水嶋JR東海ユニオン委員長、小尾東海鉄道OB会静岡地方本部長ら合計24名が参列し、先人の犠牲に対して改めて深く哀悼の意を表すとともに、今後も鉄道事故防止に向けた安全対策を確実に実施していく決意をあらたにしました。



▲除幕式の様子



▲開眼法要の様子

三重支店

お客さま誘致や案内レベルを高めるために

熊野古道マイスター制度

三重支店では平成17年度より「熊野古道マイスター制度」を開始しています。この制度は、世界遺産である熊野古道に関する知見を高め、熊野古道へのお客さま誘致や熊野古道を訪れるお客さまに対する社員の案内レベルを高めることを目的として導入したものです。

平成17年度は6名の社員が、平成18年度は新たに7名の社員が認定され、合計13名のマイスターが誕生しました。現在、熊野古道マイスターの顔写真入りのポスターを駅に掲出し、それぞれのマイスターの「おすすめ古道」を紹介する取り組みを行っています。

熊野古道マイスターとして認定されるためには、筆記試験（2回）、レポート、面接試験の全てに合格する必要があります。試験ではコース概要、古道の歴史や風土、当社の企画商品に関する知識などが問われます。ハードルは決して低くありませんが、運輸営業関係社員を中心にマイスター認定を目指して日々努力しています。

6月2日に馬越峠で開催される「さわやかウォーキング」では、熊野古道マイスターがコースに立ち、お客さまの案内を行います。今後は「語り部講座」の企画など様々な場面においての活躍が期待されています。



JR東海三重支店
熊野古道マイスター
熊野古道の歴史的背景や古道コースの知識、熊野古道に関する当社商品を詳細に見え、熊野古道へご旅行されるお客様にご満足いただける旅行企画案内できる人材を育成しており、その中で特に優秀と認められた社員を「熊野古道マイスター」として認定しています。マイスターが熊野古道のご旅行をサポート致します。

熊野古道マイスター（敬称略）

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 森田正行（津駅） | 伊藤資一（紀伊長島駅） | 村田二男（尾鷲駅） |
| 三好俊雄（松阪駅） | 中西良之（紀伊長島駅） | 廣森久雄（熊野市駅） |
| 世古武一（紀伊長島駅） | 鳥本 均（尾鷲駅） | 久保昌伸（熊野市駅） |
| 大上洋三（紀伊長島駅） | 池口 清（尾鷲駅） | |
| 中場秀治（紀伊長島駅） | 野村隆介（尾鷲駅） | |

◆ JR 東海トピックス ◆

事業推進本部

憧れの名店がいよいよオープン 「ナゴヤセントラルガーデン」 商業施設オープン

名古屋千種区高見二丁目「ナゴヤセントラルガーデン」の商業施設6店舗が、3月の第1期分譲マンションと街区の完成に続き、4月11日に揃って開業しました。

当日は、敷地南側の「サウスガーデン」において、松本社長と事業者代表により街開きのセレモニーを行った後、各店舗前でシェフ等が開店前からお越しいただいた多くのお客さまをお出迎えしました。

商業施設は、南北の並木道沿いにイタリア料理の第一人者である落合務シェフがオーナーの名店「ラ・ベット

ラ・ダ・オチアイナゴヤ」など、名古屋初出店3店舗の他、名古屋マリオットアンシアホテルが飲茶と本格中国料理を気軽に召し上がったいただける「梨杏茶樓(リンカサロウ)」を出店するなど、ご家族でご利用いただきやすい店舗が揃っています。「ナゴヤセントラルガーデン」のホームページをご覧ください。



▲シェフ等の集合写真



▲オープニングセレモニーでのテープカットの様子

店舗一覧

店名	電話
イタリア料理 「ラ・ベットラ・ダ・オチアイナゴヤ」	052-759-5030
中国料理 「梨杏茶樓(リンカサロウ)」	052-757-5665
ベーランジェリー 「メゾンカイザー」	052-757-3188
パティスリー 「フォルテシモ アッシュ」	052-761-7278
スーパーマーケット 「成城石井」	052-759-4110
クオリティドラッグ 「アマノ」	052-759-5515
エステサロン 「シエル・ドゥ」	052-763-2202

「ナゴヤ セントラルガーデン」のホームページ
<http://www.ncg.jp>

事業推進本部
関西支社

より便利に、より京都らしくリニューアル 京都駅商業施設グランドオープン

京都駅商業施設は駅設備改良工事・耐震補強工事とあわせリニューアルを進めてきましたが、4月13日に1F「アステイ京都」及び2F 新幹線改札内商業施設がグランドオープンしました。

1F 「アステイ京都」は、京都府初出店となる「ベリーカフェ」、「ラーメン酒家 驛麵」や、「マツモトキヨシ」、「西尾ハツ橋 sweets cafe」などの店舗が開業し、観光需要に加え、日常的に駅をご利用いただくお客さまに対しても

便利なゾーンとなりました。また、2F 新幹線改札内商業施設

は、3月20日、茶寮「京下鴨 宝泉」とグランドショップ京都が開業。平成18年3月以降、段階的に実施してきた本物志向のリニューアルが終了し、京都駅に到着した時から京都の雰囲気を感じることができるゾーンとなりました。京都駅にお越しの際にはぜひ各店をご利用ください。



▲ 2F 新幹線改札内に開業した茶寮「京下鴨 宝泉」



▲ グランドオープンした 1F 「アステイ京都」



///グループインフォメーション



夜行高速バス「早売3」割引きっぷ 好評発売中！ ジェイアール東海バス(株)



▲名古屋・静岡地区からの高速バスを運行 ▲3列独立型フルリクライニングシート(イメージ)

当社は、高速バス、一般路線バスの他、愛知県を中心とした貸切バス、自動車リース業、駐車場業などの事業を行っています。

現在、名古屋駅から首都圏方面へ運行する夜行高速バスについて、大変お得な割引きっぷ「早売3」を発売しています。この「早売3」は、昨年9月の発売開始以来、多くのお客さまにご好評いただいたことから、現在では計5路線を対象路線を拡大しています。

夜行高速バスなら朝6時前後には目的地に到着し、1日の時間を大変有効に使えます。これまで夜行高速バスを使ったことがなかった方も、ご家族やお友達と一緒にぜひご利用ください！

■早売3の対象路線・ご利用運賃

運行区間	便名	通常運賃	早売3	
			窓口購入	ネット購入
名古屋・岐阜⇄東京	ドリームなごや	6,420円(6,620円)*1	4,900円(5,100円)	4,800円(5,000円)
名古屋⇄東京	青春ドリームなごや	5,000円	3,000円	2,940円
名古屋・春日井⇄新宿	ニュードリーム名古屋	6,420円	4,900円	4,800円
名古屋⇄横浜・品川	ラメール	5,750円(6,200円)*2	4,600円(4,980円)	4,510円(4,880円)
名古屋⇄東京ディズニーリゾート	ファンタジアなごや	6,500円	4,550円	

※「早売3」は月～木曜日(祝日・祝前日を除く)の出発便について、出発日の3日前までにインターネット予約サイト「高速バスネット」(<http://www.kousokubus.net>)か、名古屋駅などのJRバス窓口でご購入ください。
※お問い合わせ JR東海バス名古屋旅行センター ☎052-586-9848

(*1)岐阜発着の運賃
(*2)品川発着の運賃



「名古屋うまいもん通り」リニューアルオープン！ 名古屋ステーション開発(株)

当社は、JR名古屋駅をはじめ岐阜駅、尾張一宮駅の商業施設や大垣駅ビル、津駅ビルなどの店舗開発・管理・運営を行っています。また、鉄道高架下においては、店舗、事務室、倉庫、駐車場を開発し、幅広くご利用いただいています。

名古屋駅では、愛知万博に先立ち「キューズマルシェ驛」や「名古屋中央通り」など各ゾーンのリニューアルを進めてきました。さらに、この3月には「名古屋・驛通通り」の東側に隣接するレストラン街を新たに「名古屋うまいもん通り」としてリニューアルオープンしました。

「名古屋うまいもん通り」にはリニューアルした既存の4店舗に加え、新たに本格派カレーの店「Curry&BeerBar wave(ウェーブ)」と焼き鳥の店「赤い鳥」が登場しました。各店舗とも、気軽に、繰り返しお立ち寄りいただけるメニューや、名古屋の味を手軽にお楽しみいただけるメニューを取り揃えております。名古屋駅にお越しの際には、ぜひご利用ください。



▲▼リニューアルオープンした「名古屋うまいもん通り」



▲本格派カレー「Curry&BeerBar wave(ウェーブ)」

▲焼き鳥「赤い鳥」



不動産事業を通じて魅力溢れる「街づくり」を ジェイアール東海不動産(株)

当社は、JR東海が保有していた不動産の有効活用を図るため、平成13年3月に同社の100%出資子会社として設立され、今年の3月で7年目に入りました。

不動産分譲事業、賃貸事業をはじめとし、JR東海所有の賃貸事務所ビル等の管理運営業務を東京地区から関西地区にわたって行っています。

賃貸事業では、当社として初めて開発した商業施設「セントラルスクエア静岡」が、おかげさまで昨年11月に一周年を迎えることができました。今後もお客さまに末永く親しまれる商業施設となるよう、各種イベントの開催や、新規テナントの誘致に努めていきます。

販売事業では、JR東海の高見社宅跡地において「街づくり」型開発をコンセプトに、話題性のある商業施設と一体で、当社初の分譲マンション「セントラルガーデン・レジデンス」を手がけました。3月に引渡しを開始し、現在、第II期分譲マンションの計画を進めており、平成

21年春の引渡しを目指しています。また、徳川明倫町の分譲マンションについても、平成20年3月の引渡しに向けて、安全第一で建設を進めています。JR東海社員の皆さまのマイホームづくり、仲介等も幅広くサポートいたします。

今後も、JR東海グループの発展のため、社員一丸となって取り組んでいきます。

●不動産に関する情報は当社のホームページでご案内しています。
ホームページ <http://jr-estate.com/>



▲「ナゴヤ セントラルガーデン」街開きセレモニーの様子



▲「セントラルスクエア静岡」外観



新!

速さも、心地よさも、エコロジーも、目に見えないもの。
だからこそ、極限まで尽きつめてカタチにしました。
史上最高の走行・快適・環境技術で作りあげた、
「ずっと乗っていたくなる」時間へ。
あなたのご乗車を心よりお待ちしております。

最新技術という、おもてなし。新しい新幹線
N700系、7月1日デビュー。



読者のひろば

支部発展の立役者を讃える

焼津支部 高島繁二

私達焼津支部は、嘗ての静鉄内局勤務者のOB会から局管内に勤務した退職者の内焼津市と近隣二町(岡部・大井川町)出身者が大同団結して結成されたのであるが既に三十年に到達間近となった。

当初八十名の会員が今は正会員百八十二名・準会員五十三名の世帯となった。結成当時は無一文の出立だけに大変なご苦労があったと伺う。有志個人負担を余儀なくし、世話人や機構の構築、規定等の制定等々多大の辛酸を嘗めたご様子。

その後会員の弛まざる努力と相まって団体旅行の誘客、増収活動に目を向けた成果が認められ、当局から再三の表彰を頂いた。

この先達者も今はその殆どが故人となられ生存者は五指に満たない状態である。その内の二、三名の方にスポットを当ててみよう。

伊村文雄氏(八十七才)元支部長・嘗ては現職元課長

初代支部書記長・未だに矍鑠とされ結成以来の活動である月一回の駅及びその周辺の清掃奉仕に欠かさず参加、又毎年八月十四日市主催の「海上花火大会」には夜間の多客誘導補助・併せ駅清掃奉仕に会員と共に汗を流して呉れている。また多趣味で囲碁・将棋、絵画・陶芸等熱心に後継指導も余念がな

い、敬服以外なし。

山川藤吉氏(九十才)

両氏とも元職駅長

萩原高志氏(九十三才)

両氏とも結成以来満身のご努力を頂いた方々だ。駅清掃及び増収活動には伊村氏同様両年前までご奉仕下さったが老齢は精神とは一致せず終了したが、山川氏は吟詠に萩原氏は書道教師として後進指導に精励され、更に山川氏は市老連理事として永年実績を積み重ねている。

お年寄りでの奉仕作業は後輩達に任せて欲しいと進言するも、後輩に伍して奉仕に専念される先達者に敬意と祝福を送らずには居られず筆を執らせて頂いた。

こうした一途の思いが今も嘗々と続く限り我が支部に憂いはないと信じている。

お三方に栄光あれ…。

熊野古道に魅せられてその二

蟹江支部 東昇

気持のよい目覚めだ。第十二番目の世界遺産登録を受けた熊野古道「馬越峠コース」に挑戦の日だ。今回で、熊野古道は二度目。

前回は、JR特急利用梅ヶ谷駅下車「ツツラ峠



馬越峠の入口二百メートル程のところから古を偲ぶ石畳が並び、絶妙な風情をかもし出している。かなりきつい勾配を一歩一歩と喘ぎあえぎ峠を目指す。途中いい汗をかきながら、時々鶯の鳴き声で慰められながら歩を進める。森林の中を行くコースだ。谷川のせせらぎ、透き通った鶯の鳴き

コース」の一人旅でしたが、今回は弥富市に住む実弟と一緒にマイカーで試みることにした。ドライバーは長距離ドライブが得意な小生の担当。情報収集は、インターネットで、ルート・天気予報等を検索だ。馬越峠ルートの出発点「海山・道の駅」は、GPSで確認。紀勢自動車道の視界は、緑いっぱい山また山。スピード感に満ち溢れる快適な走行が、旅の良さを増してくれる。最高の旅日和に感謝しながら弟との会話が弾む。

ジャスト十二時に到着。道の駅で、腹ごしらえだ。車は、「海山・道の駅」に駐車。十二時三十分馬越峠コースに足を踏み込む。「道の駅」からは、五百メートル程国道四十二号線に沿って歩く。この間、左の土手に並ぶ紫陽花の群れが自分達を歓迎してくれ、気分が良い。

声、まさしく森林浴、木々の間を抜ける気持よい風。とても癒しの瞬間だ。オゾン一杯たつぷりと。いよいよ山道も険しくなり一歩一歩踏みしめながら滑らないよう、あえぎあえぎ暫く登る。

やっと十三時半過ぎ馬越峠の茶屋跡に到着。小休憩後尾鷲市内に向け下山開始。

下りはじめてから石畳を敷いた区間の短いのは、やや不思議な気がした。海山側の方が馬越峠と認識するには歴史的価値が存在すると思った。

桜地蔵尊、展望台から尾鷲市一望、馬越不動尊、行者堂を通り尾鷲市街へ、コンクリート道を前につんのめるような格好で急坂を下ること三十分。やっと尾鷲市内の中心部に到着(十四時三十分頃)。マイカー駐車場に戻るため「尾鷲駅口」バス停をやって見つけたが、本数過少のため「海山・道の駅」まで戻るのがやむをえずタクシーを利用せざるを得なかった。

石畳を喘ぎ喘ぎ上りながら考えたことだが、最近



の黄砂で色つく「名古屋の空」とくつきり晴れた抜けるような「海山の空」を比べ自然環境の影響の違いをまざまざと見せ付けられた気がする。緑一杯の自然環境が心身の底から清浄にしてくれるような心地だ。この良さは、自然に恵まれた環境で味わえる醍醐味なんだ。また、来て見たいという欲望を抱かせる。老い行く体に新風を吹き込むには旅が一番だ。

チャンスがあれば、次の挑戦を試みようと思いい二人が帰路についた。

一日走行三百五十キロ。延べハンドル約四時間。ことなく旅を終えることができ、「元気に生かされている自分」にありがとう。

野菜作りに思う

西濃支部 澤邊邦雄

日が長くなり、日差しが強くなっていると野菜、草花の成長が日毎に目立つようになり、素人の園芸にも励みになって来ます。昨年まで知人の空き地を借用して、野菜作りに励んで来ましたが、家から二キロの距離が往復の時間と労働の重荷となったので、この春からは、わが家の狭い庭にプランターを十数個ほど並べて野菜作りに励んでいます。六本程度の豌豆が今真っ盛りとなり一日置きに三十個ほどの収穫を楽しんでいます。茄子四本、隠元豆六本、胡瓜六本、オクラ二本、ピーマン二本、トマト四本、ホウレン草五箱、ミニ赤蕪二箱、と、こう並べ立てると随分大百姓になったような気になって、毎日プランターの前に立って眺めるのが楽しみです。

植物は偽りが無い、とはよく言われることですが、昔退役軍人など、殊に乃木大将や、東郷元帥など、悠々自適農耕に励んでいたことを思い、その心境が察せられます。戦時中のラバウルで軍司令官今村大将はラバウルの長期戦に備えて、隷下の部隊に自活農業を奨められたが、自らも鋤を執って汗を流しておられました。師団長のお供をして、軍司令部を訪れたおり、上半身裸で農耕に励んでいる、お年寄りが今村大将であることを知って驚いたことがありました。師団長(影佐中将)は、「軍司令官閣下には全く頭が下がるよ、無私無欲、部下には率先して事に当たり、まるで禅宗の僧侶のようなところがある。」と感心しておられました。今村大将の心境には及ぶべくもありませんが、園芸の仕事をするときに、時々そんなことを思い出して、六十年前を懐かしんでいます。

喫煙・節煙・禁煙

岐阜支部 奥村元士

「百害あって一利なし」などとタバコの害について言われて久しいが、公共施設や、駅内車中は勿論、一部路上での喫煙も禁止される始末で、タバコ愛好家には誠に肩身の狭い世の中になっています。

食後や思考中の一服は、喫煙者にはたまらない一時ですが、手持ち無沙汰で何となく手にする味気ない一服も多い。

私の喫煙暦は、あの軍隊生活以前はタバコと全く無縁で、新兵さんが隠れて吸うような苦労は皆無で、この点では楽をしたものです。

さて実施部隊へ配属されると現地(上海)では、軍人用の良質なタバコが無償で配給され、一回に十箱、月に二回などと無縁な私には有り難迷惑な配給でしたが、上級兵に進呈した残りを何となく吸ってみると、これがなかなかの味で、すっかり喫煙者の仲間入りとなった次第です。

復員してみると、あの配給の刻みタバコを紙で手巻きして吸うという、惨めな喫煙者の一人となってしまったのです。配給の辛いばかりのタバコは、現地で覚えたあの味とは、似ても似つかぬものであつたし、かねてからニコチンの害を聞いていた身では、一日も早く止めねばと思っていたものです。

とりあえず一日十本と決めてみたものの、それ以上には禁煙とまでは進めず

「二十本なんて吸っても吸わなくても一緒だ」と簡単に言う人もいましたが、完全禁煙に越したことはありません。

こうして七十歳を越したころ、どうも大腸の不具合があり、医者に手術だと宣告されました。昔流に言えば切腹同様に腹にメスとなれば、とても怖い話ですが背に腹は替えられぬ、思いきって手術を受けるハメになってしまいました。

さて手術に付き添っていた娘婿が、手術後に先生が見せてくれた切除した腸の一部に、黒いものがあったと言うではありませんか。

途端にこれはタバコのせいだ、ニコチンだと単純に理解したのです。長年の喫煙がこのような結果に現れるとは、その害を認めざるを得ません。このシヨックは一気に禁煙に踏み切ることになりました。

喫煙は簡単にできますが、さて完全禁煙となるととても困難であることは常々言われるところです

が、何かのシヨックがあると、きつとできると思います。

半世紀にも及ぶ喫煙暦の私が言っても説得力はありませんが、OB諸兄の健康を願うとき、私とタバコの絶縁を披露いたしました。

もつともその後、皮下脂肪のせいか従来のズボンですべて買い替えると言う、予期せぬ副産物もありました。

軍用列車が遅れた為現在の私がある

金谷支部 坂部庸夫

国の為に尽くす事が親に孝行する事になると教育された私は、昭和十九年二月国民学校二年在学中に、海軍少年通信兵を志願して、山口県の防府海軍通信学校に入校しました。

通信学校での教育は、今では到底想像のできない厳しいもので、涙と汗の連続でした。

ラッパで始まりラッパで終わる一日で、暇さえあればモース符号の勉強です。イロハのイの字はイトー、口は路上歩行、ハはハーモニカです。試験で一字間違えればバッテリー一発です(わかりますか軍人精心注入棒です)。今思い出してもぞつとします。

戦雲急を告げる昭和十九年は、大東亜戦争も大激戦で各地各船舶から、通信兵の要求が多く、通信学校での教育も戦時速成教育となり、ある程度の検定試験に合格すれば卒業して第一戦へと送り出されたのです。

私も無我夢中で勉強して、まぐれで、第一回の検定に合格し、昭和十九年九月二十五日に防府海軍通

信学校の交信科を卒業することが出来ました。

同日付けで、当時の海軍聯合艦隊旗艦でした。

巡洋艦、「愛宕」の通信隊に配属の命を受けたのです。辞令を手にした私は、すごい所へ行くんだなあ、大丈夫だろうか心配でした。十四才と九ヶ月の時でした。

山口県の防府から軍艦の入港している横須賀まで軍用列車で行くことになり、山陽本線、東海道、横須賀線と乗り替え、二十四時間以上もかかり、列車が遅れなんとか横須賀軍港につきましたが、軍艦「愛宕」は出航した後でした。

これが私の運命の別れ道になったのです。

昭和十九年九月二十五日は日本海軍が大打撃を受け、多くの犠牲者を出したフィリッピンレイテ島の総攻撃の指令が出た日なのです。

レイテ島は東アジア制圧の為の拠点で、陸・海・空、六万以上の犠牲者が出た戦いでした。

十月二十三・四日にかけて総攻撃に入った連合艦隊は、アメリカ戦闘機部隊と潜水艦の猛攻撃を受け全滅に近い大打撃を受けたのです。私の乗艦する予定でした「愛宕」も敵の戦闘機と潜水艦による魚雷攻撃を受け、むなしくも海の藻となったのです。(乗組員の安否不明)

海軍特別攻撃機の一発機が飛びたったのもこの戦いからです。

私は軍用列車が遅れた為に現在がありますが、若くして戦場に散った同士を想う時、唯々安らかに眠らんと心から冥福を祈るのです。

以上六十有余年たった今でも忘れる事のできない思い出です。

短 歌

兄様の柩に別れの釘を打つ
一瞬止まる時の流れは
さらさらと血の流れ行くイメージを
描きつつ飲む今朝の豆乳

沼津支部 山田寿男

老の身を嘆く電話の長びきぬ
テレビを消して真剣に聞く
ひとしきり草取りをした口実に
早々酒の少量を飲む

浜松支部 原 哲

鳴沙山らくだの背にゆれながら
「月の砂漠」をしみじみ唄う
千年世砂漠の砂に埋もれし
莫高窟のあまたみ佛

津支部 岡 俊雄

子供等が傘寿祝って旅行券
別府・指宿温泉三昧
知覧にて死地に赴く若鷺の
辞世の文を涙・涙で

名古屋機関区支部 服部幸夫

黙々と走り続ける中央線
陶都の歩み百年眺めて
終電に乗り遅れたり無人駅
テールランプが闇に消え行く

陶都支部 伊藤博司

俳 句

せせらぎにほどよく和して河鹿の音
炎天を逃れてうましコップ水
一文字に道ふさぎおり青大将

山東支部 久保田かよ子

登校の肅々と行く新入児
故郷の山河変らず春祭
校庭の木々の巣箱や芽吹き雨

西濃支部 高畑正良

大根潰腕は自慢の母仕込み
一番茶啜りて久し長眉毛
水満ちる万古の花器の花菖蒲

名城東北支部 岡本清一

花冷えや人まばらなる遊園地
春の雨一陣の風人と走る
昼下りひらめく一句花の下

四日市支部 小川 勇

恋猫といふには少し肥りすぎ
牡丹の崩れし嵩を集めけり
風が出て絡て解きし鯉のぼり

津支部 濱口義徳

源泉の流れは暗し草茂る
古寺や仏足石の青蛙
黒揚羽裏参道に消えにけり

浜松東支部 大倉照一

川 柳

プラス思考悩みは持たぬ余生今
趣味一途命ふくらむ定年後

大府支部 藤井芳雄

身に余る叙勲が肩に重く乗る
老廃をかたわらに置く自尊心

富士宮支部 渡辺定善

いつになく無口な妻に威圧感
心棒のずれが周りを困らせる

岐阜工事局支部 弓桁英二

老々の介護に軽い愚痴一つ
古里の春が届ける母の顔

美濃太田支部 三島次朗

人生の余白を趣味に生きて幸
ワントンボらずと広くなる視界

笠寺支部 稲塚正一

歳ひとつ加えて余生のポランテア
元駅長背は丸くてもある気骨

美濃太田支部 竹内幸一

こんな冷雨がやっぱり後で風邪をひき
今日からは素振りと思いつ酒を呑み

鶴舞支部 加藤寿美夫

駅探訪

東海道本線 がまごおり 蒲郡駅

●開業/明治21年9月1日
●所在地/愛知県蒲郡市元町

「海のながめは蒲郡」一鉄道唱歌にも歌われた海辺の観光地。その玄関口となる蒲郡駅のホームからは、おだやかな三河湾を眺望できる。一昨年、高架駅として新しく生まれ変わった同駅舎は、三河湾の「海」をモチーフにし、風を受けて膨らむヨットの帆を想起させる防風スクリーンが、駅舎を包み込むように備え付けられている。



駅から南東へ徒歩で15分ほどのところに、蒲郡のシンボル「竹島」が浮かぶ。竹島とその周辺は、東海地方屈指の保養地として古くから多くの人々に親しまれてきた。周囲およそ620mの小島だが、陸地と橋で結ばれているため歩いて渡ることができる。

島内には、暖地性の植物が多く自生し、島全体が国の天然記念物に指定されている。島を一周するようにつくられた遊歩道を歩いてみた。生い茂る樹木のグリーンと、きらめく水面のブルーが見事なコントラストを織り成す。島の中心部には、縁結びの神様として知られる「八百富神社」があり、デートを楽しむカップルらで賑わいをみせる。

竹島へ渡る橋のたもとには、川端康成をはじめ、大正・昭和の文豪達に愛された旅館「常磐館」の趣を再現した史料館「海辺の文学記念館」がある。ここでは、蒲郡を取り上げた文学作品などが展示されている他、未来(10年後)へ向けて手紙を出すことができるユニークな投函箱がある(有料)。ゆっくりと流れる時間の中で、未来の自分や家族へ宛てた手紙の文面を考えてみる。打ち寄せては引いてゆく静かな波の音を聞きながら…。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」5月号から抜粋し再構成したものです。

「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領



1 「表紙写真」

会報誌の表紙に掲載する写真も会員から募集しております。表紙の写真が会員からのものでなくては会報誌としての意義がありません。応募写真は、それぞれの会報誌発行時の季節にあつたもので、画面に列車等が入っていないでも結構ですが、JR東海エリア地域内のものが好ましいと希望します。カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ(解像度A4サイズで三〇〇DPI以上)送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。

2 「支部だより」

OB会活動の原点は支部における活動であります。今後さらなる活性化のため、お互いにそれぞれの支部の運動方針や活動状況等を参考のために是非投稿して下さい。なお、支部総会、支部クラブ活動、会員交流会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動等支部からの「たより」を随時受付いたしております。テーマ、内容等は自由ですが、六百字目途にまとめ、執筆者氏名を明記し、状況のわかる写真をできるだけ一枚添えて下さい。

3 「読者のひろば」

会員からの「随筆、情報、体験談等」の寄稿を受付けています。テーマ内容は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はいずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

4 「絵手紙」

会員からの「絵手紙」の募集を随時受付けています。色彩が鮮明なもので会報発行の時期にあつたものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

5 「短歌、俳句及び川柳」

会員からの「短歌、俳句及び川柳」の募集を随時受付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は三句、川柳は二句以内の限り、会報誌発行の時期にあつたものとし、冠部の「短歌」「俳句」「川柳」と朱書きし、応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名(本名を記入する)及び住所、電話番号を明記して下さい。

6 「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品等は順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節に合わせるなどとして、掲載が遅れる場合がありますからご承知下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

7 寄稿及び投稿先

〒四五〇一〇〇〇二
名古屋市中村区名駅三―十三―十二
キヨスク名駅ビル内
東海鉄道OB会・会報編集係宛

編集後記

会報第十号(七月号)の編集と今後をお願い

今回は平成十九年度東海鉄道OB会会長表彰式と総会の概要をはじめ、各地域で開催されている平成十九年度の地方本部総会及び支部総会の概要等の投稿をたくさんいただきましたので、今回の発行は二十頁綴りと増頁しましたが、年度初後半に開催された地方本部総会及び支部総会の投稿は、編集に間に合わなかったため次号で掲載することになりました。

一 平成十九年度の東海鉄道OB会表彰式と総会

今回の会報第十号二頁にその詳細を基本方針とともに皆様にお伝えしましたが、本年度は特に、JR退職者が入会し易い自主自立をした組織の充実、特に支部活動の活性化を図り、行動のできるよう進めなければならぬことに留意して各支部とも行動して下さい。

二 東海鉄道OB会報の充実

会員でつくる会員のための会報として前回もお願いしましたが、特に次のご協力をお願いします。

- A 会報表紙の写真を積極的に寄せて下さい。
- I 最近JR東海を退職し、OB会に入会された方々のフレッシュな投稿を歓迎します。

(杉浦)

発行 千四五〇一〇〇〇二

名古屋市中村区名駅 三丁目十三―十二

キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部

発行人 杉浦 定行

電話 〇五二―五六一―六〇八〇 (FAX兼用)